

フォーラムエンジニアリング 非公開化に向けた方針について

スキルがつながる世界へ。

株式会社フォーラムエンジニアリング

(東証プライム：7088)



本日11/10開催の当社取締役会において、KJ003株式会社による公開買付けに賛同の意見を表明し、株主の皆様に対して公開買付けへの応募^(注)を推奨することを決議いたしました。

公開買付者	KJ003株式会社 (Kohlberg Kravis Roberts & Co. L.P. (以下「KKR」といいます) の運営ファンドが管理運営する国内法人)
公開買付期間	2025年11月11日 ～ 12月23日 (30営業日)
買付価格	普通株式1株につき1,710円
プレミアム	公表日 (11/10) の前営業日 (11/7) 終値1,275円に対して、34.12%のプレミアム 直近1か月 (10/8-11/7) 終値の単純平均値1,249円に対して、36.91%のプレミアム 直近3か月 (8/8-11/7) 終値の単純平均値1,280円に対して、33.59%のプレミアム 直近6か月 (5/8-11/7) 終値の単純平均値1,215円に対して、40.74%のプレミアム
買付予定株数	下限：15,613,500株 (買付予定株数の下限は、当社の総株主の議決権 (潜在株式考慮後) の3分の2から、非公開化に合意している株主が保有する不応募合意株式及び取締役が保有する譲渡制限付株式に係る議決権の数を控除した数を踏まえて設定)
公開買付成立後	公開買付者 (KJ003株式会社) の完全子会社となり、2026年4月下旬～5月中旬に非公開化 (上場廃止) 予定
2026年3月期中間配当 および期末配当	実施せず
中期経営計画 「cognavi Vision 2026」	前倒し終了
その他	■ KJ003株式会社は、株式会社ラテールホールディングス (当社創業者の資産管理会社であり、当社筆頭株主 37.07%保有)、一般社団法人ラテールネクスト (当社第三位株主 7.11%保有) 及び大久保泉氏 (当社第二位株主 7.51%保有) との間で、基本契約及び応募契約を締結し、これらの大株主 (計51.69%保有) との間で、本非公開化について合意 ■ KJ003株式会社による公開買付けののち、2026年3月上旬に自社株公開買付けを実施予定

(注) なお、新株予約権者の皆様が当該公開買付けに応募するか否かについては、新株予約権者の皆様のご判断に委ねる旨を決議しております。

現状の課題

当社を取り巻く市場環境や経営環境の変化

経営課題の解決に単独で
取り組むには時間がかかり、
市場での好機を逃すリスク

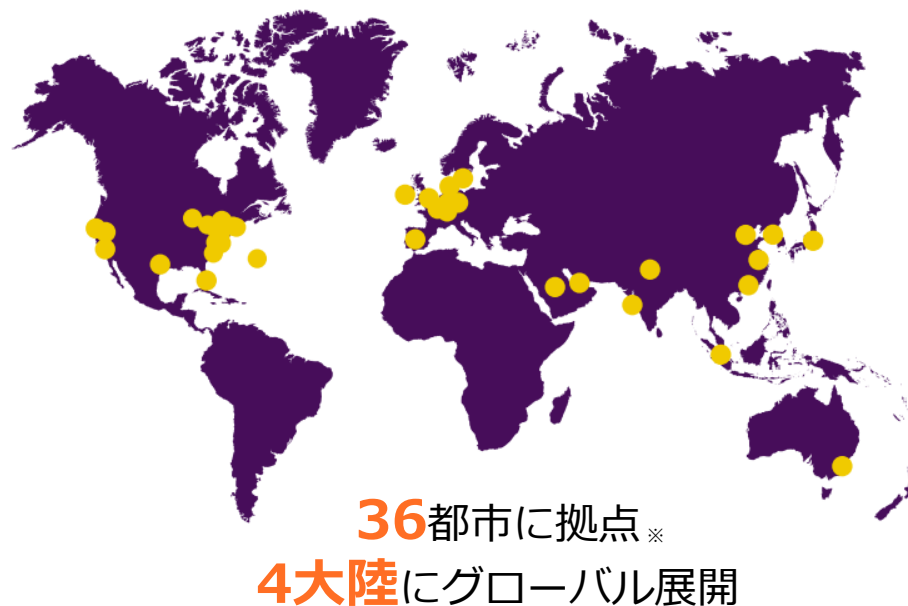
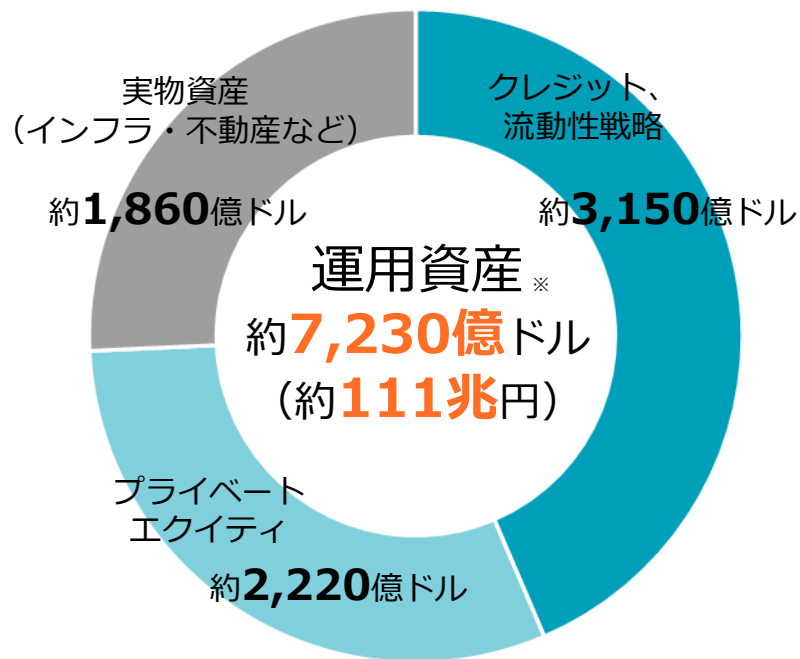
十分な投資ができないことによる
機会損失の可能性

さらなる成長を実現するためには、新しいパートナー企業による
資本参加を含む、様々な取り組みの検討が必要

非公開化のメリット

- ① 適宜適切に大胆な投資施策が可能
- ② 短期的な売上高の縮小や業績の浮き沈みを気にせず、中長期的な視点での経営判断が可能
- ③ 経営課題を解決する能力や知見を備えた新たなパートナーの資本参加を得て、課題解決にスピーディに取り組めるようになる

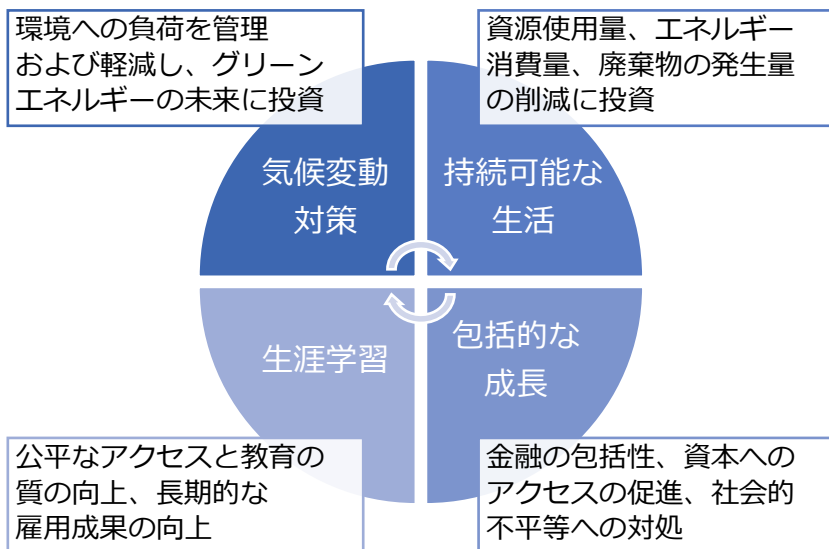
1976年に設立されたKKRは、世界で最も歴史と経験のある総合資産運用会社であり、中でもプライベート・エクイティ投資においては業界の創始者として知られています。2006年に東京オフィスを開設以降、日本市場での投資活動を積極的に拡大しています。



※ 2025年9月時点。\$1=¥153で計算
出所：KKR公開資料

KKRグローバル・インパクト戦略は、気候、持続可能性、社会的公平性に焦点を当てた、中規模市場のプライベートエクイティ投資戦略です。

投資テーマ



投資実績



2つのファンドを通じて
累計**20億**ドル超を投資



世界**12**か国で**21**件
の投資を実行



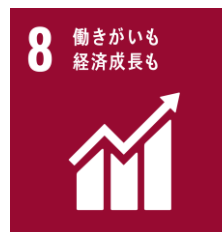
創設以来**13**の
SDGs達成に貢献

※出所：「KKR 2024 Global Impact Summary」

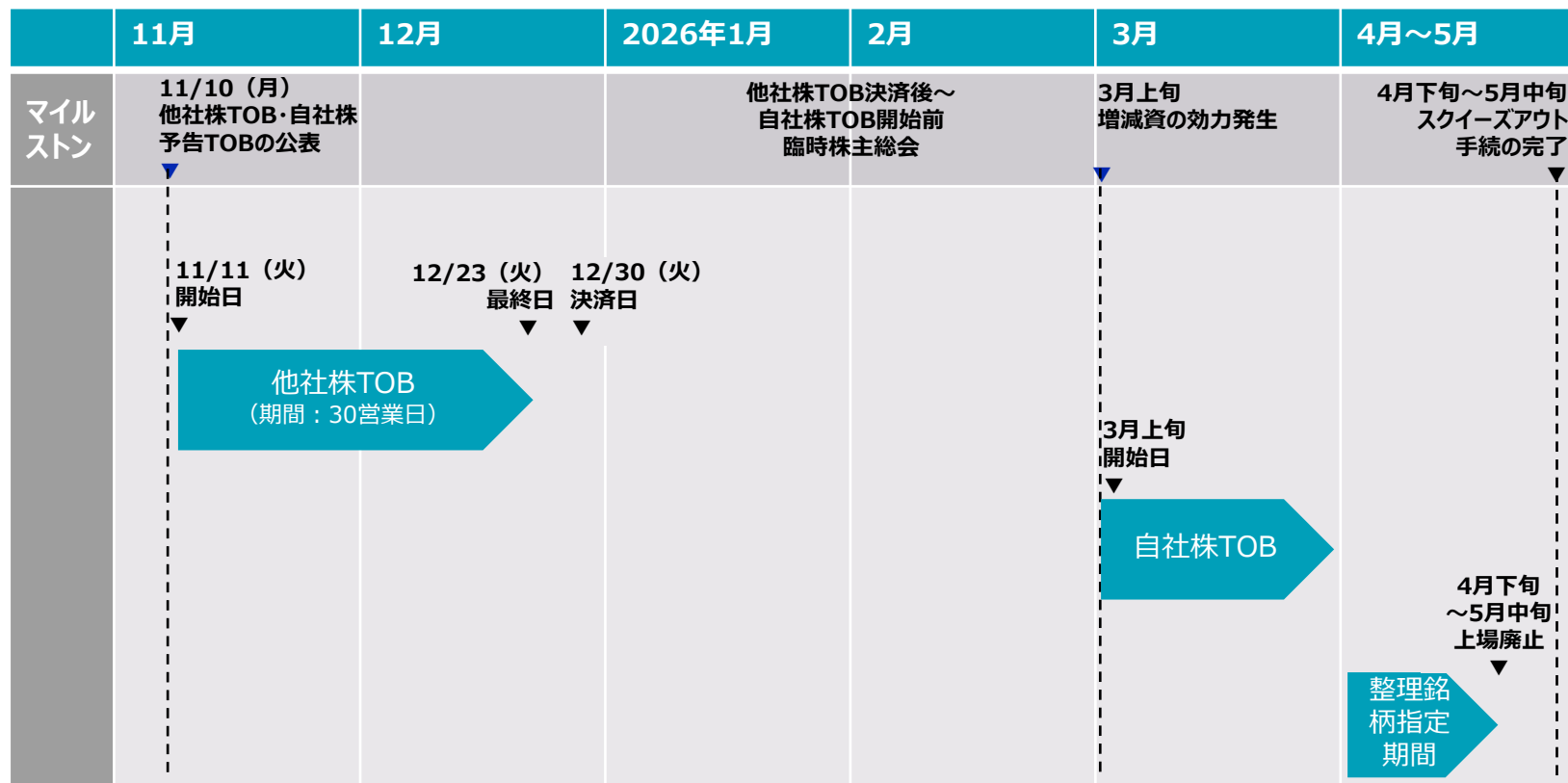
本件はKKR Global Impact Fundの

日本における第1号案件

AIによるスキルマッチングプラットフォーム
の発展や、研修・人材育成を更に推進



本件に係る手続きを所管する当局の対応等により変動する可能性があります。
他社株公開買付け成立後のスケジュールの詳細については、決定次第速やかにお知らせします。



2026年3月期 第2四半期決算説明資料

スキルがつながる世界へ。

株式会社 フォーラムエンジニアリング

(東証プライム：7088)



- 1. 2026年3月期 第2四半期決算概況**
- 2. 国内各事業サービスの状況**
- 3. 海外事業サービスの状況**
- 4. Appendix**

01

2026年3月期

第2四半期決算概況

連結 - 2026年3月期 第2四半期決算概況

主力のエンジニア人材派遣事業が順調に進捗し、前期に対して増収増益。
売上高 + 1,524百万円（+9.0%）、営業利益 + 398百万円（+19.6%）。

	2026年3月期 第2四半期実績	2025年3月期 第2四半期実績	対前年増減比	
売上高	18,480	16,955	+1,524	+9.0%
売上総利益	5,732	5,164	+568	+11.0%
売上総利益率（%）	31.0%	30.5%	+0.6%pts	-
販管費及び一般管理費	3,306	3,135	+170	+5.4%
営業利益	2,426	2,028	+398	+19.6%
営業利益率（%）	13.1%	12.0%	+1.2%pts	-
経常利益	2,468	2,065	+403	+19.5%
税引前利益	2,468	2,065	+403	+19.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,663	1,378	+284	+20.7%

（単位：百万円）

上期の業績予想に対しても増収増益。

	2026年3月期 第2四半期実績	2026年3月期 第2四半期業績予想	対業績予想増減比	
売上高	18,480	18,280	+200	+1.1%
売上総利益	5,732			
売上総利益率 (%)	31.0%			
販管費及び一般管理費	3,306			
営業利益	2,426	1,925	+501	+26.1%
営業利益率 (%)	13.1%			
経常利益	2,468	1,950	+518	+26.6%
税引前利益	2,468			
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,663	1,295	+368	+28.5%

(単位：百万円)

2026年3月期 第2四半期実績			2025年3月期 第2四半期実績	対前年増減比	
フォーラム エンジニアリング	売上高	18,467	16,944	+1,523	+9.0%
	営業利益	2,568	2,218	+350	+15.8%
コグナビ インディア	売上高	24	10	+14	-
	営業利益	▲ 162	▲ 184	+21	-

(単位：百万円)

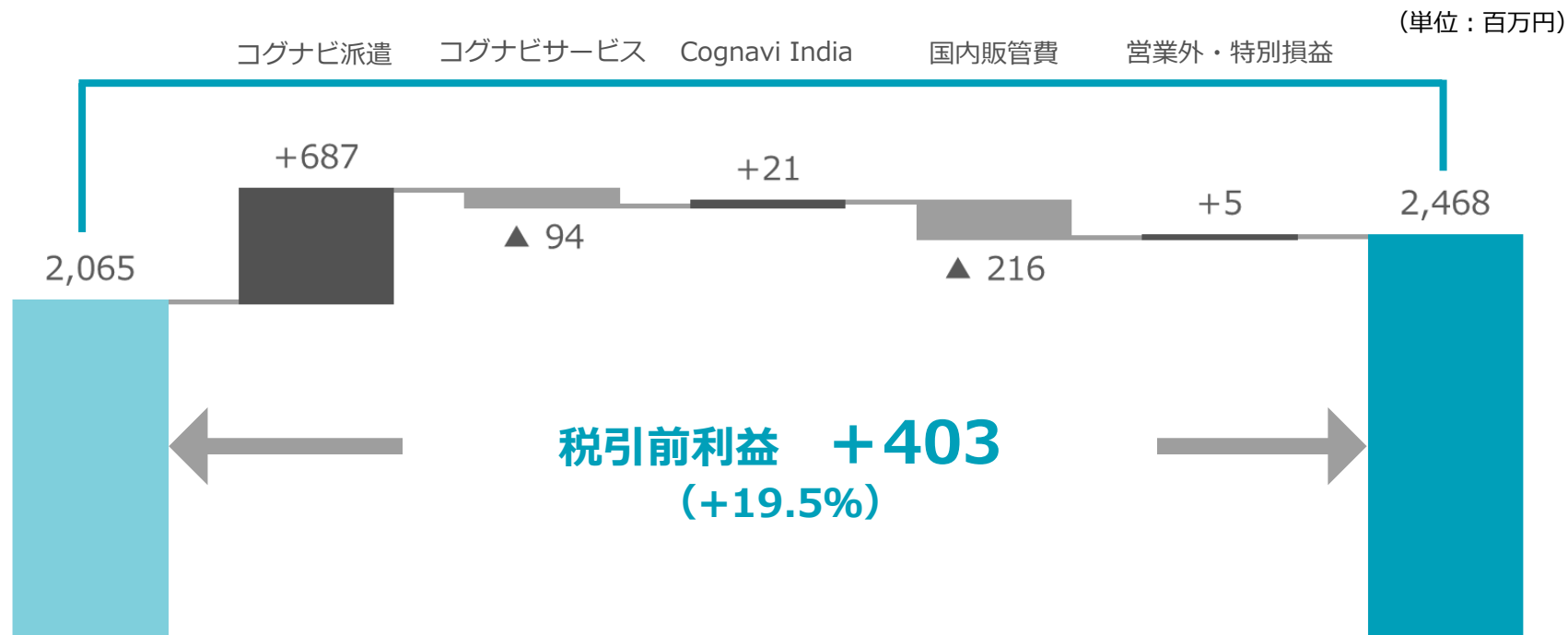
注*進捗率、前期比：どちらかがマイナス、もしくは1.000%以上の場合、一表記

注*通期業績予想は百万円以下を切り捨て、0としているため合計値が合わない場合がございます

注*連結時、連結調整区分にて、連結修正仕分等を入れております。

連結 - 税引前利益 前期との比較

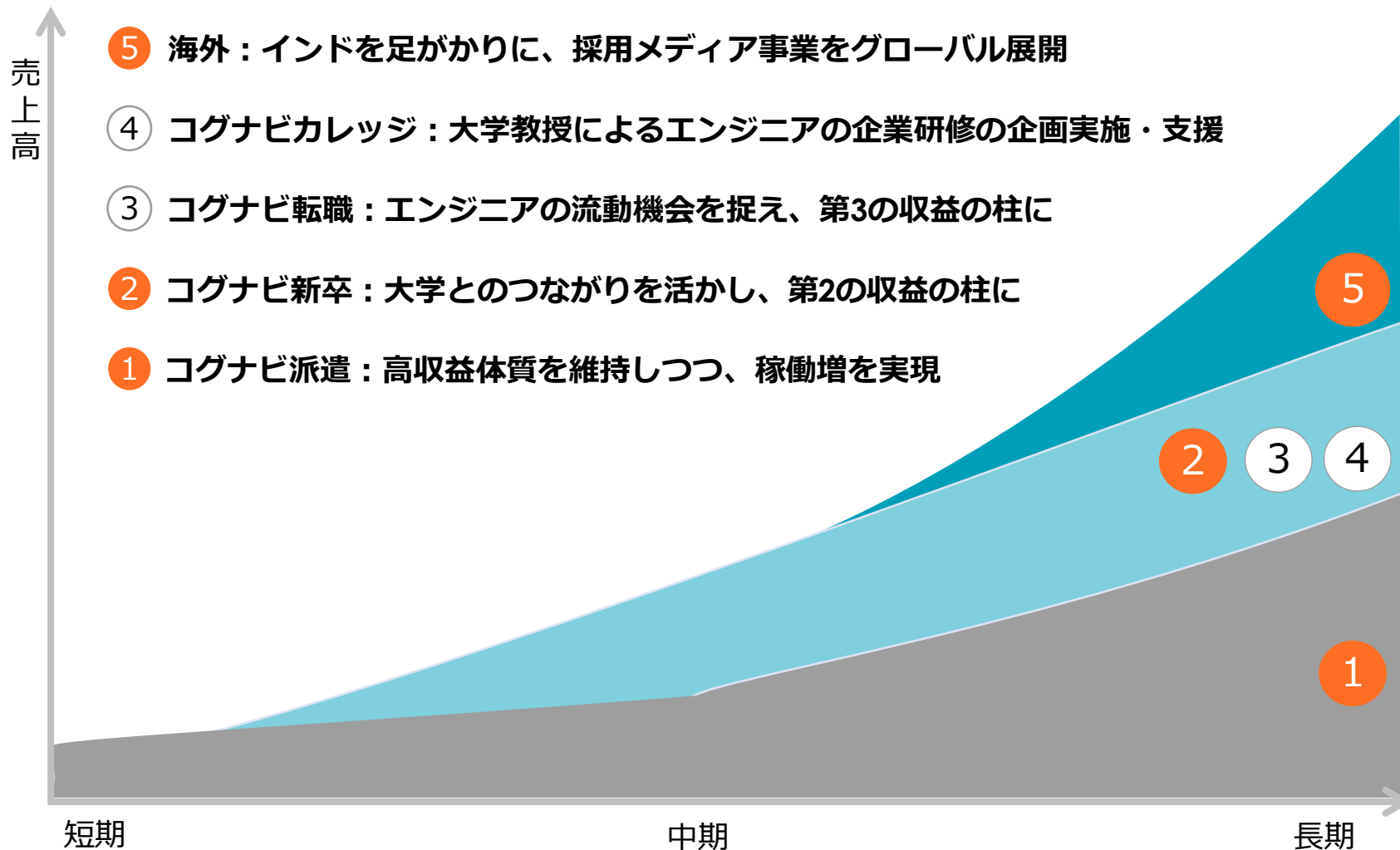
コグナビ派遣における稼働者数の増加、派遣単価の上昇が主なプラス。
コグナビ新卒のマイナスは、課金体系を成果報酬型から掲載料型に切り替えたことによる
売上計上時期の違いに起因するもの。



コグナビ派遣		コグナビサービス		Cognavi India		国内販管費		営業外・特別損益	
稼働者数増加	+200	コグナビ新卒	▲118	営業利益	+21	スタッフ社員の定期昇給	▲180	Cognavi India 定期預金運用益/その他	+5
派遣単価上昇	+546	コグナビ転職／転籍	+21			人材募集費	▲5		
有給・休暇取得日数減	+44	コグナビカレッジ	+2			情シス費／ソフト償却費	▲27		
待機/その他	▲104					その他	▲2		

02

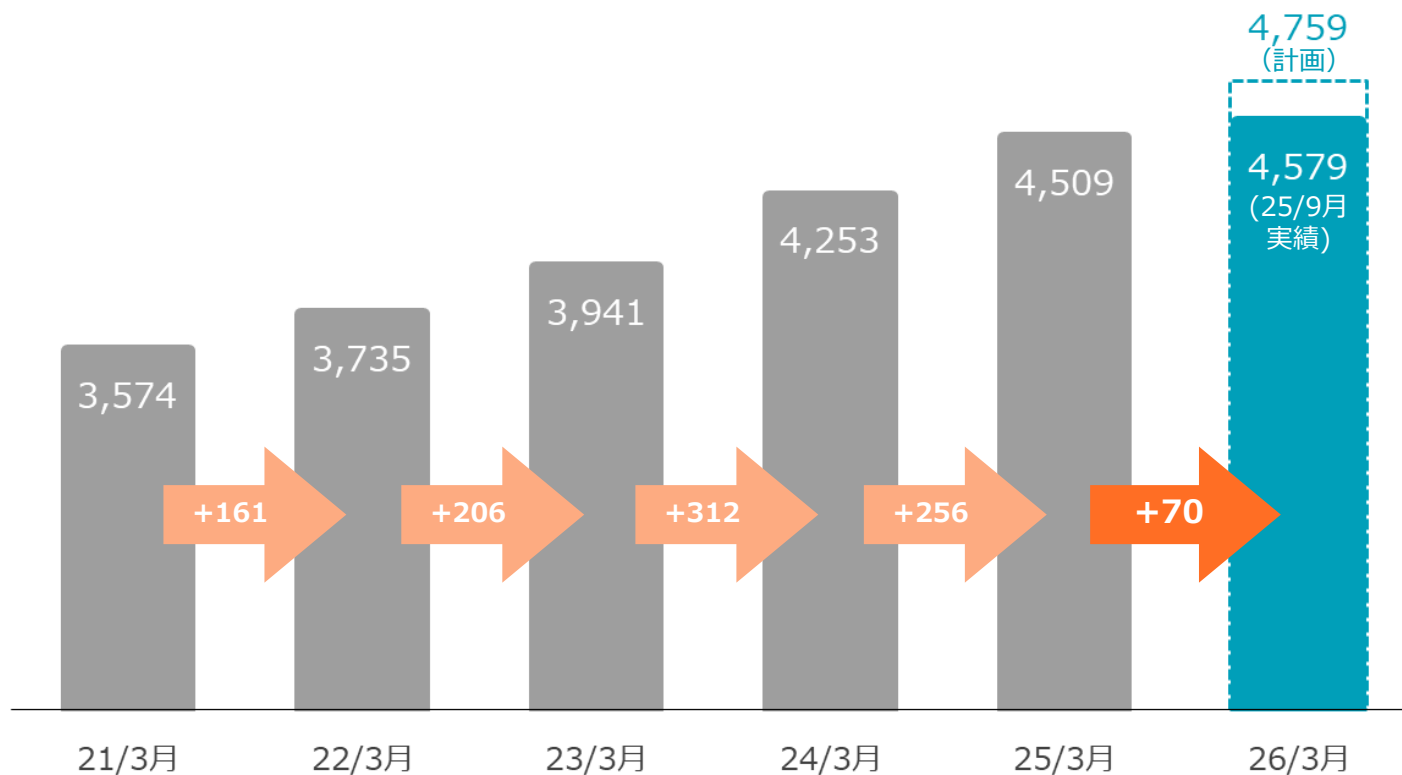
国内各事業サービスの状況



02. 国内各事業サービスの状況

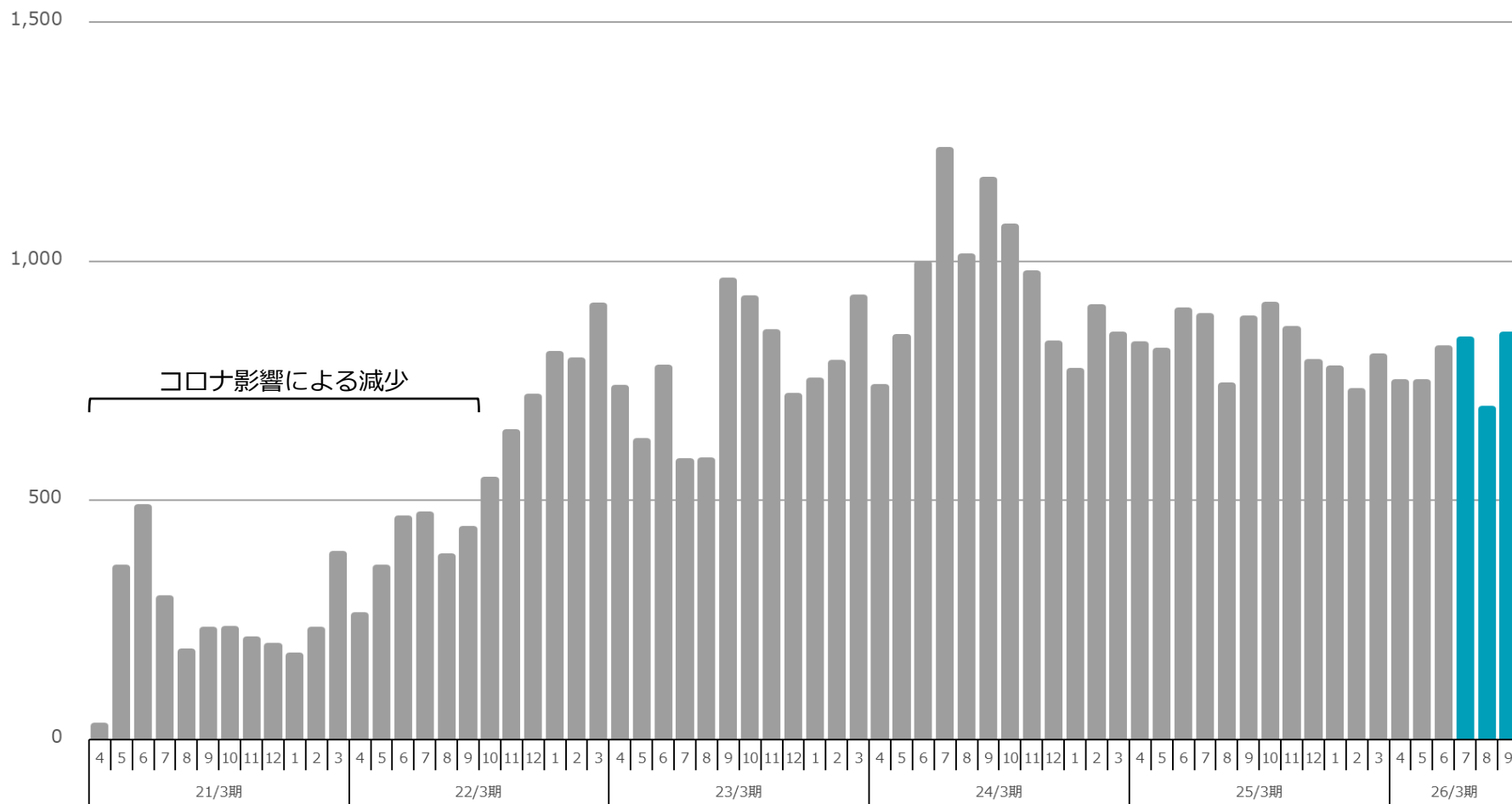
コグナビ派遣

上期実績は期初から70名増の4,579名。計画の4,759名に対し、期初から200名増の4,709名を見込む。



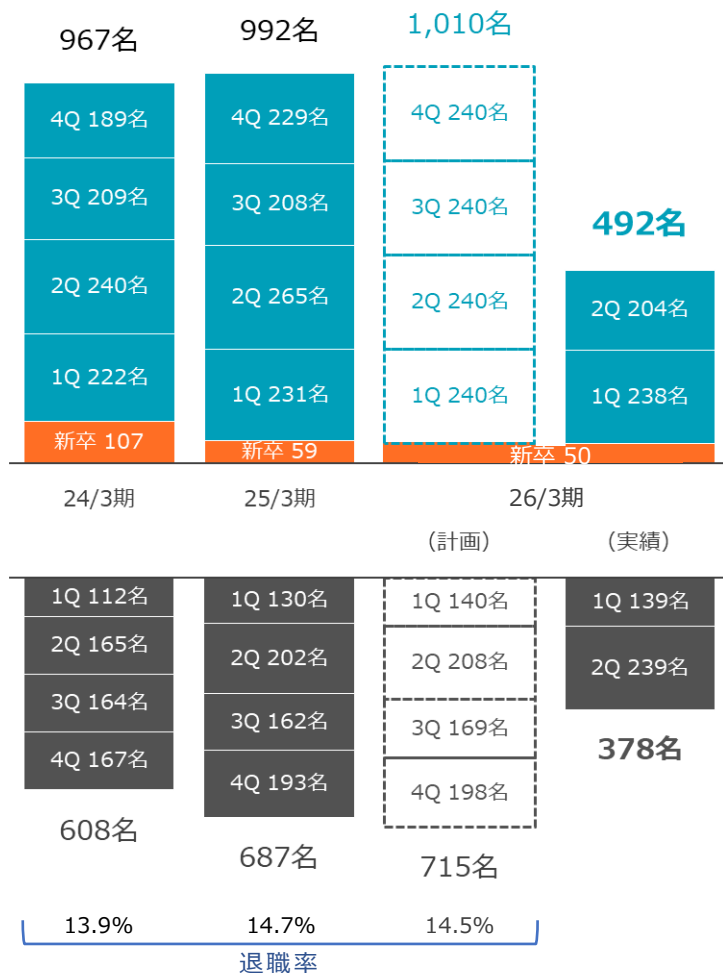
注* 各期における3月度平均の数字

約800～900件／月のペースで安定して獲得。

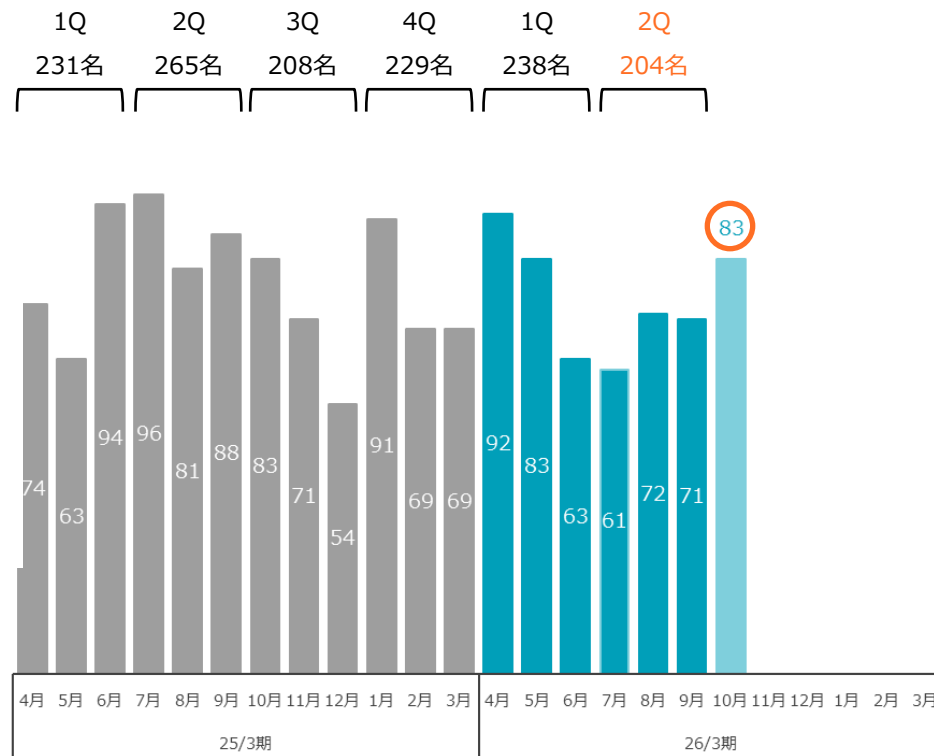


採用は2Q計画240名に対し実績204名と、計画を下回る。
退職は計画208名に対し実績239名と、計画を上回る。

採用数・退職数（期別）



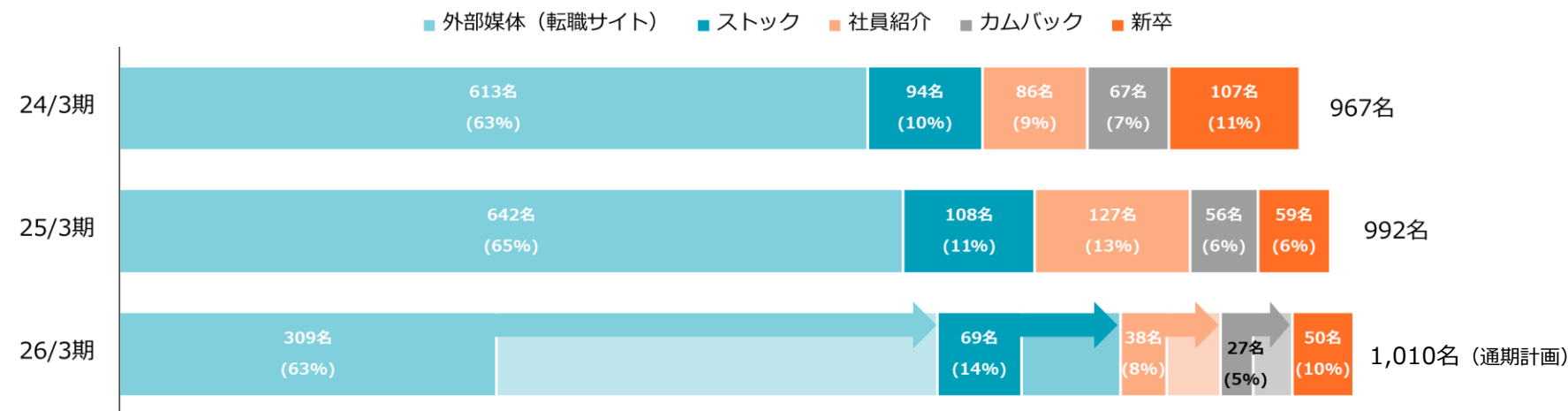
採用数（四半期別・月別）



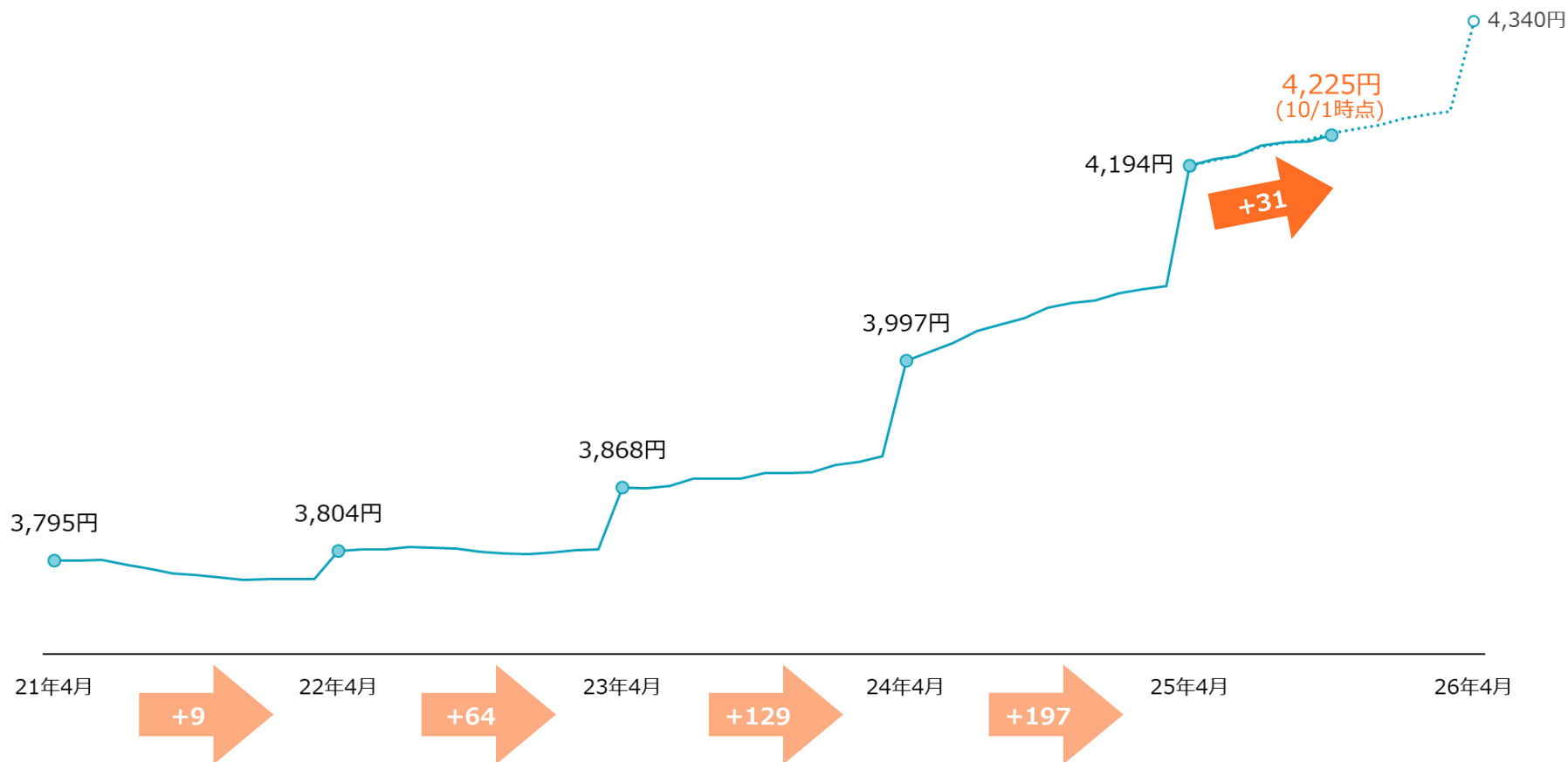
外部媒体は特に8月の応募数減少が採用数に影響したが、予算配分の見直し、面接合格からの入社率改善等の打ち手を講じ、10月以降は回復傾向。

- ① 外部媒体 … 経験者採用のみに注力。好調なIndeedに対する予算配分を増やす。
- ② スtock人材 … 過去の辞退応募者（約38,000名）に対し、再応募を促すメールを定期配信。
- ③ 社員紹介制度 … 紹介者（当社社員）に対してメールを定期配信し、協力を要請。
- ④ カムバック採用 … 過去の退職者（約7,000名）に対し、再雇用を促すメールを定期配信。
- ⑤ 新卒採用 … エンジニア職セミナーを通じてつながりのある教授から未内定学生の紹介を受ける。

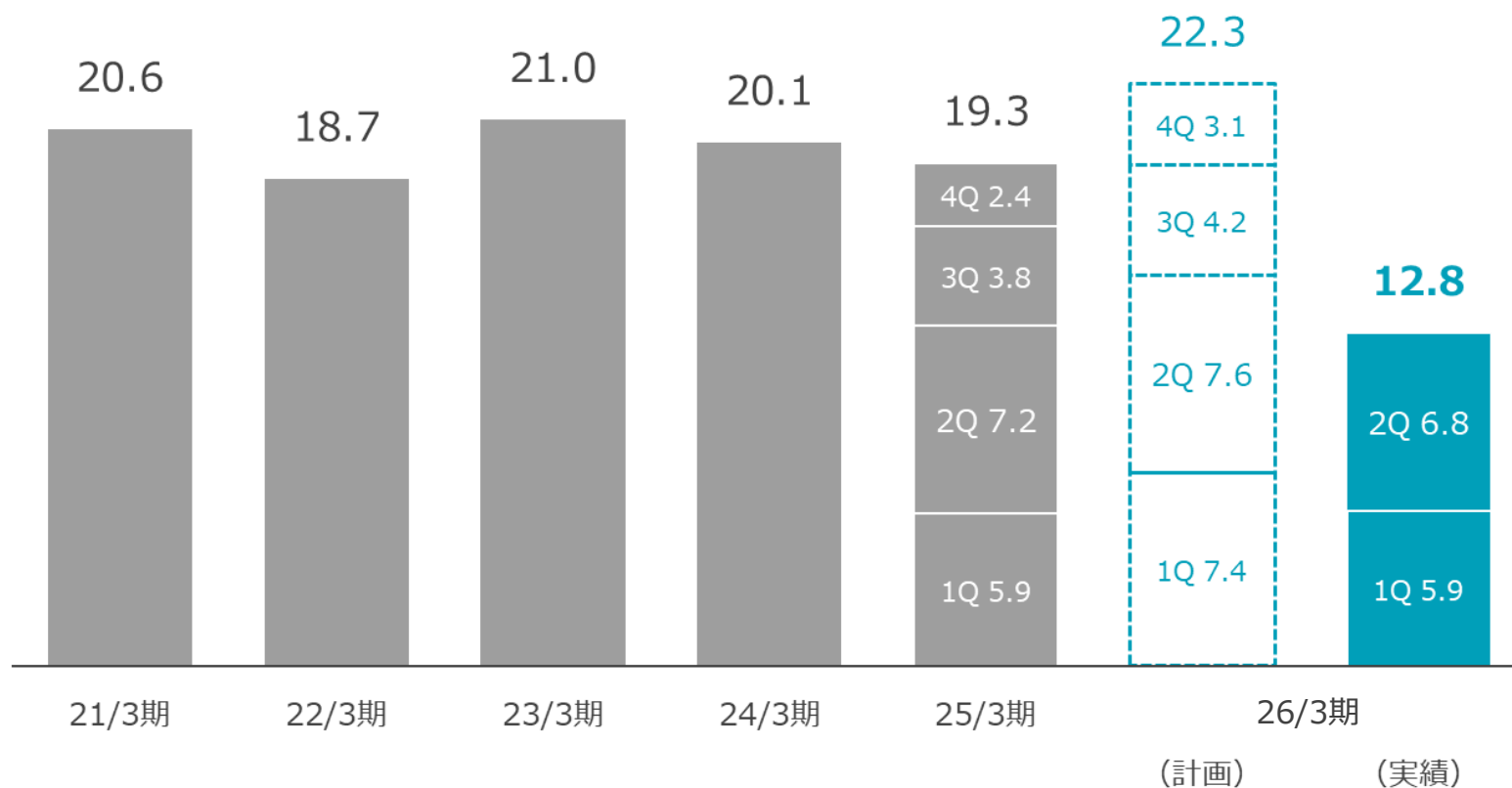
採用数 募集経路別内訳



期初から31円アップの4,225円。人口減少によるエンジニア不足の状況は続いているため、今後も単価の上昇は継続する見込み。



有休付与された日数を100%消化する前提で、2Qは7.6日の計画としたが、実績は6.8日。

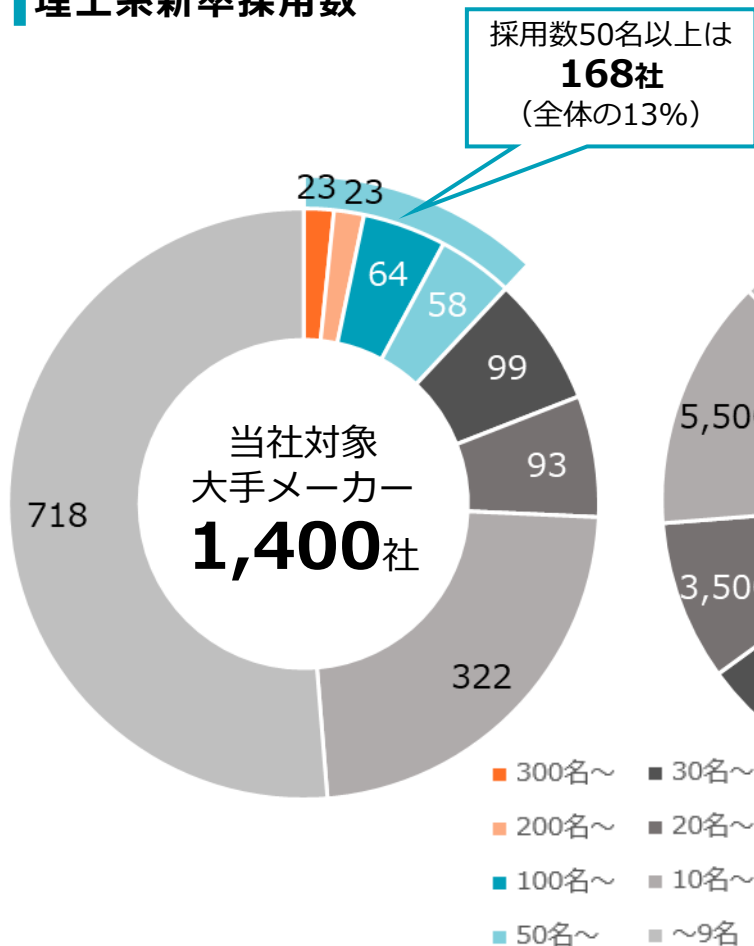


02. 国内各事業サービスの状況

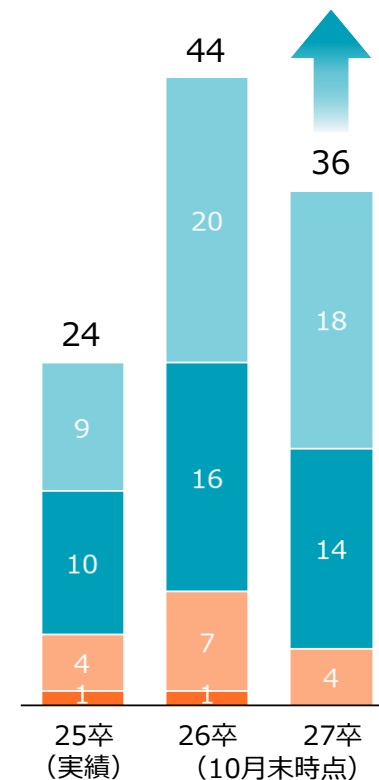
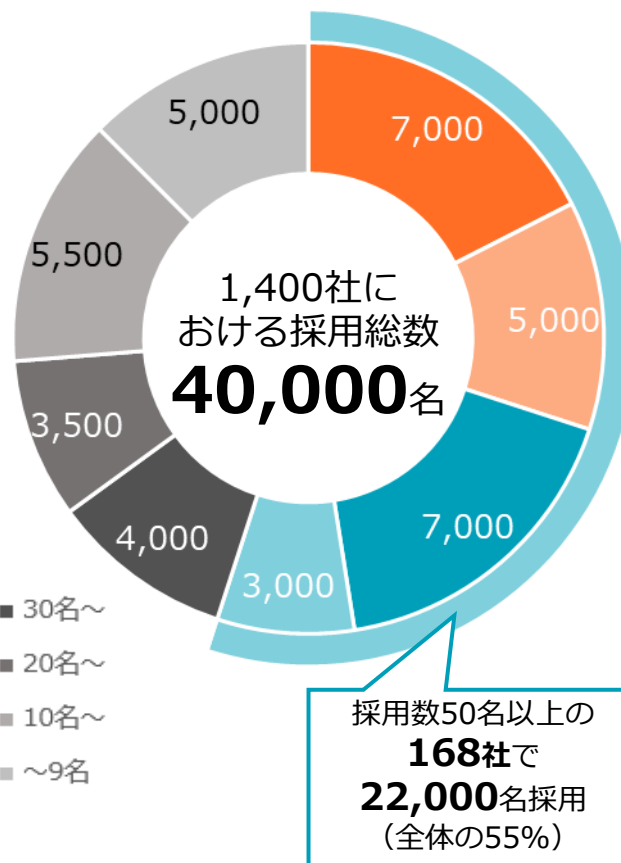
コグナビ新卒

当社対象1,400社のうち、採用数50名以上は168社だが、その採用総数は22,000名と、全体の55%を占める。掲載料型に切替える事で、大手メーカーの掲載社数拡大を推進。

理工系新卒採用数

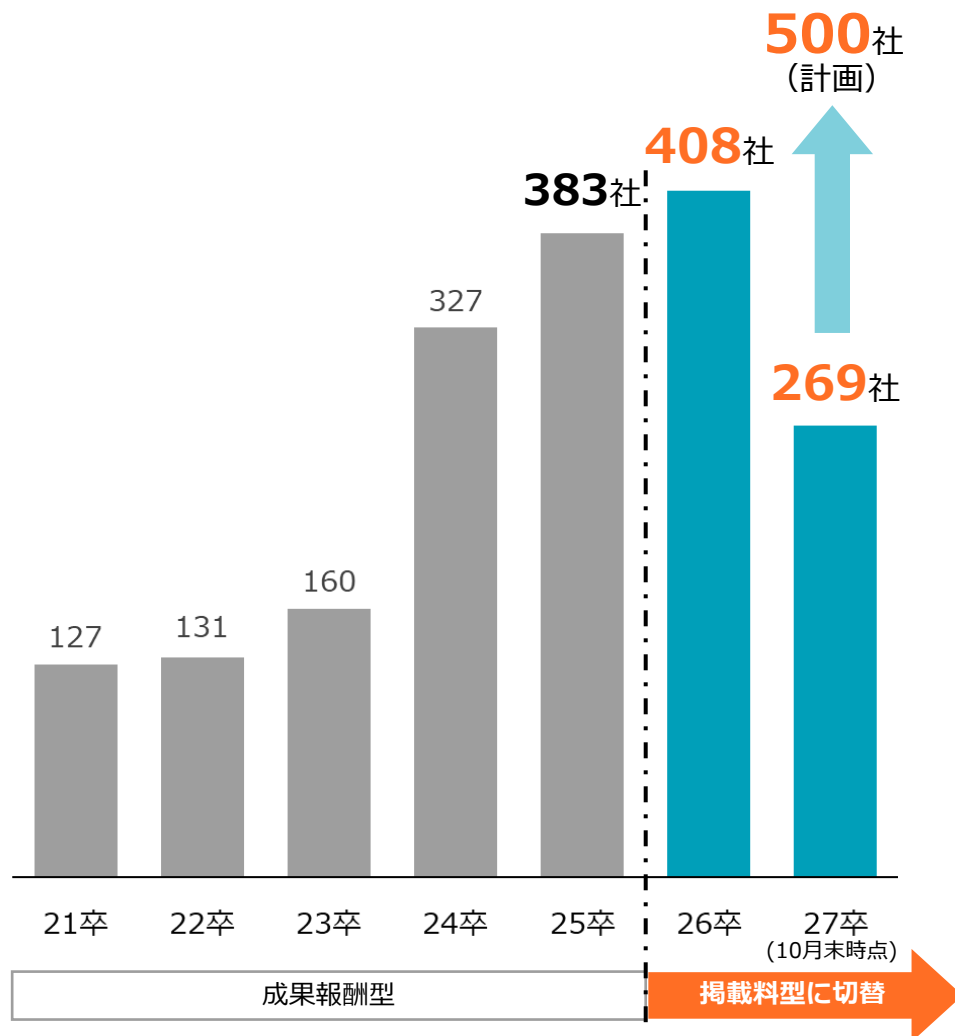


掲載社数（採用数50名以上）

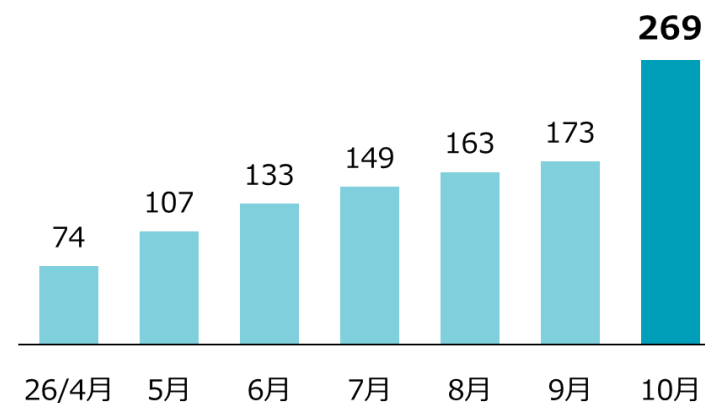


27卒は500社掲載に向けて順調に推移。

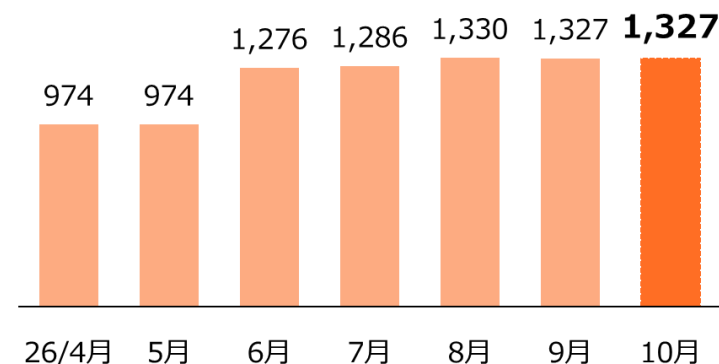
求人掲載企業数



27卒求人掲載企業数の推移

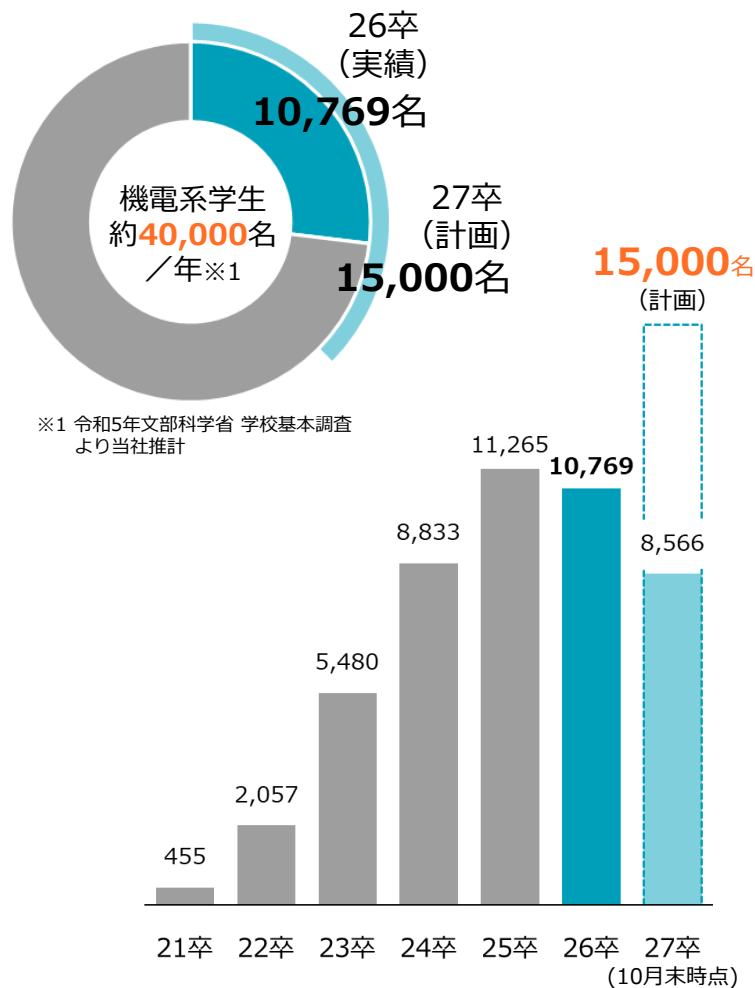


コグフェス掲載企業数の推移

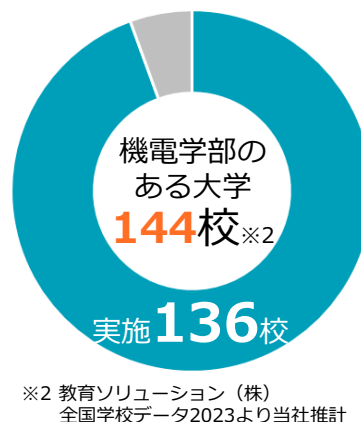


今期（27卒学生が対象）計画15,000名に向けて、順調に進捗。実施大学も136校まで増加。

コグナビ新卒登録会員数



セミナー実施大学・セミナーの様子



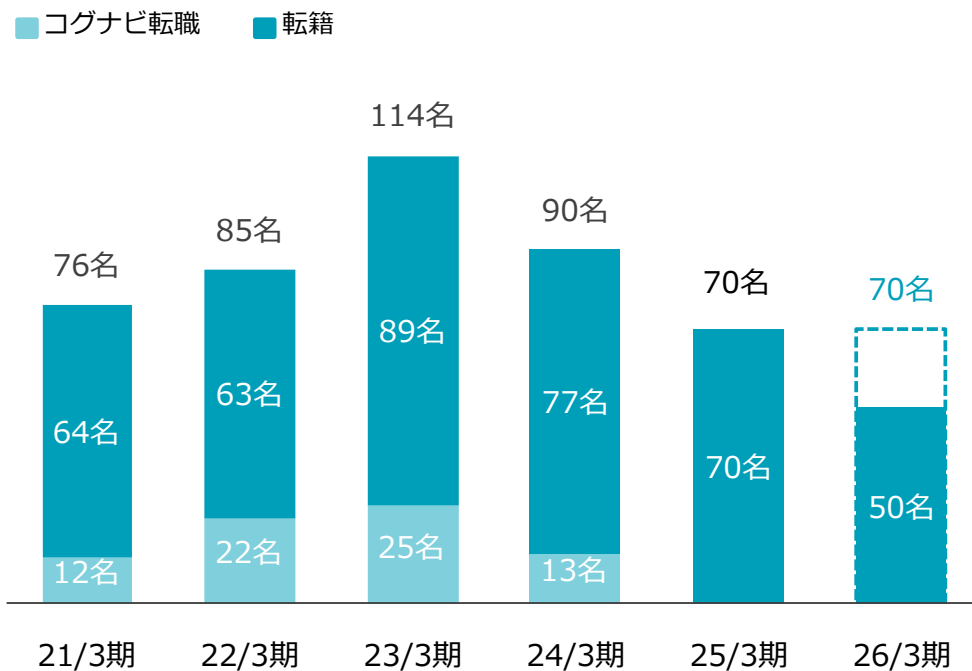
大学	中部大学
学部学科	工学部 機械工学科
講義形態	授業枠
セミナー 出席人数	159名
コグナビ新卒 会員登録数	154名

02. 国内各事業サービスの状況

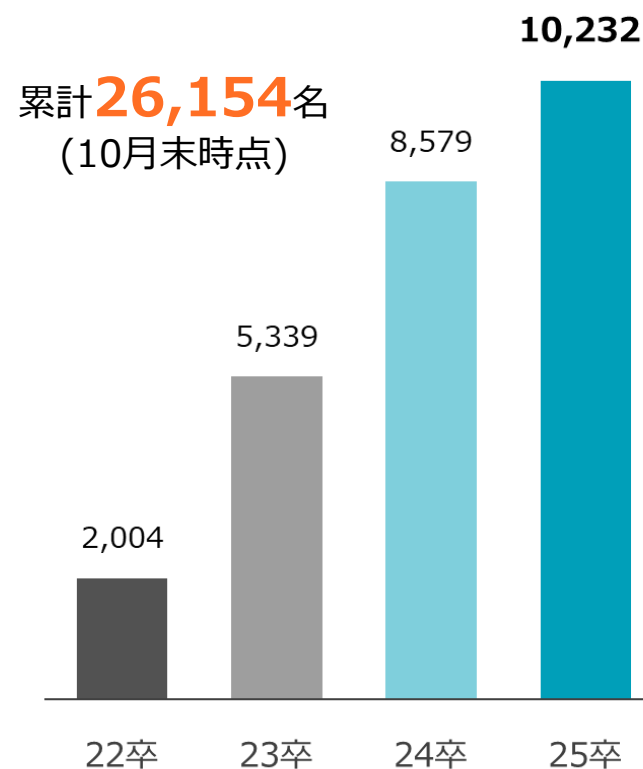
コグナビ転職・コグナビカレッジ

今期も継続してWeb広告やCM等の会員集客費用をかけず、派遣事業でのエンジニア社員がクライアント企業への直接雇用に移り替える、「転籍」のみ実施。

成約数



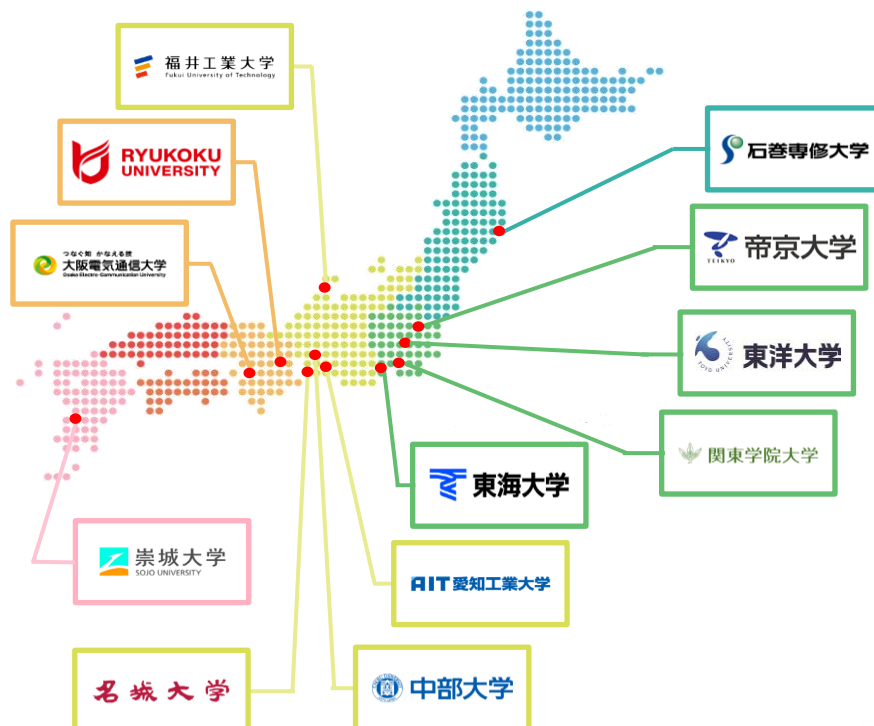
コグナビ新卒会員ストック数



2 Qは前期実績、今期計画を大幅に上回る493名が受講。そのうちコグナビ新卒経由で入社した新入社員を対象とした「基礎研修」の受講者は54名。

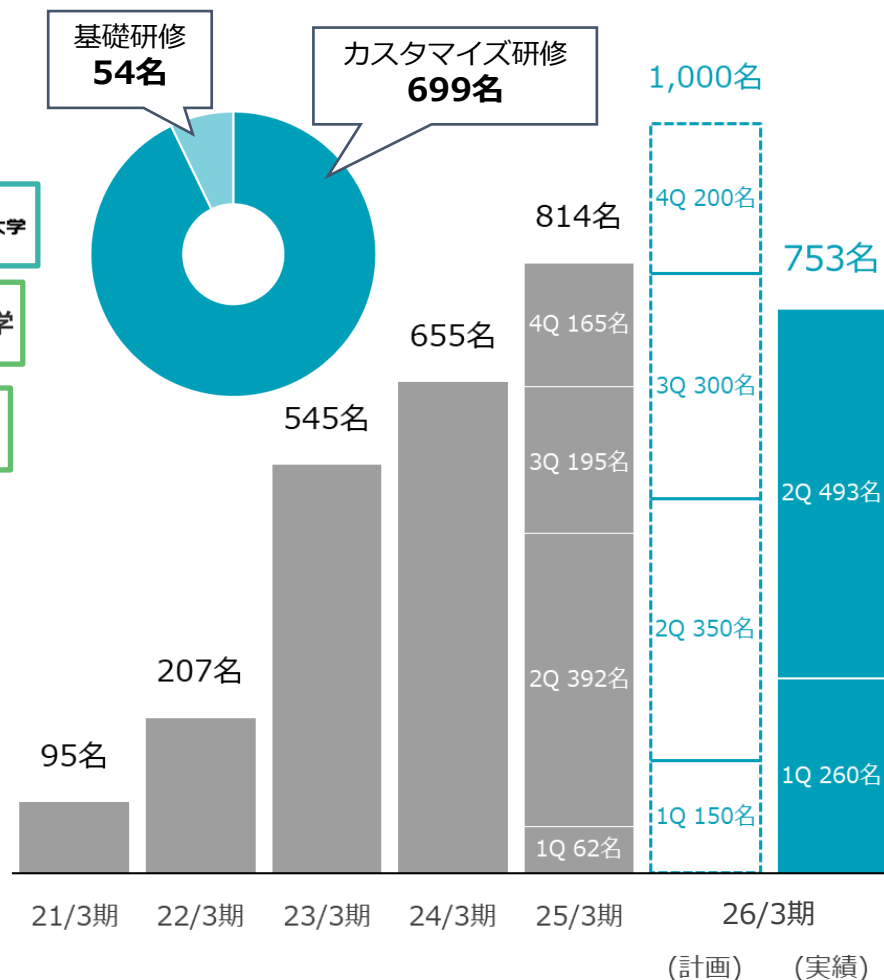
提携大学

- ★計12大学と提携
- ★教授数の総計：約850名



注＊2025年5月末時点

受講者数



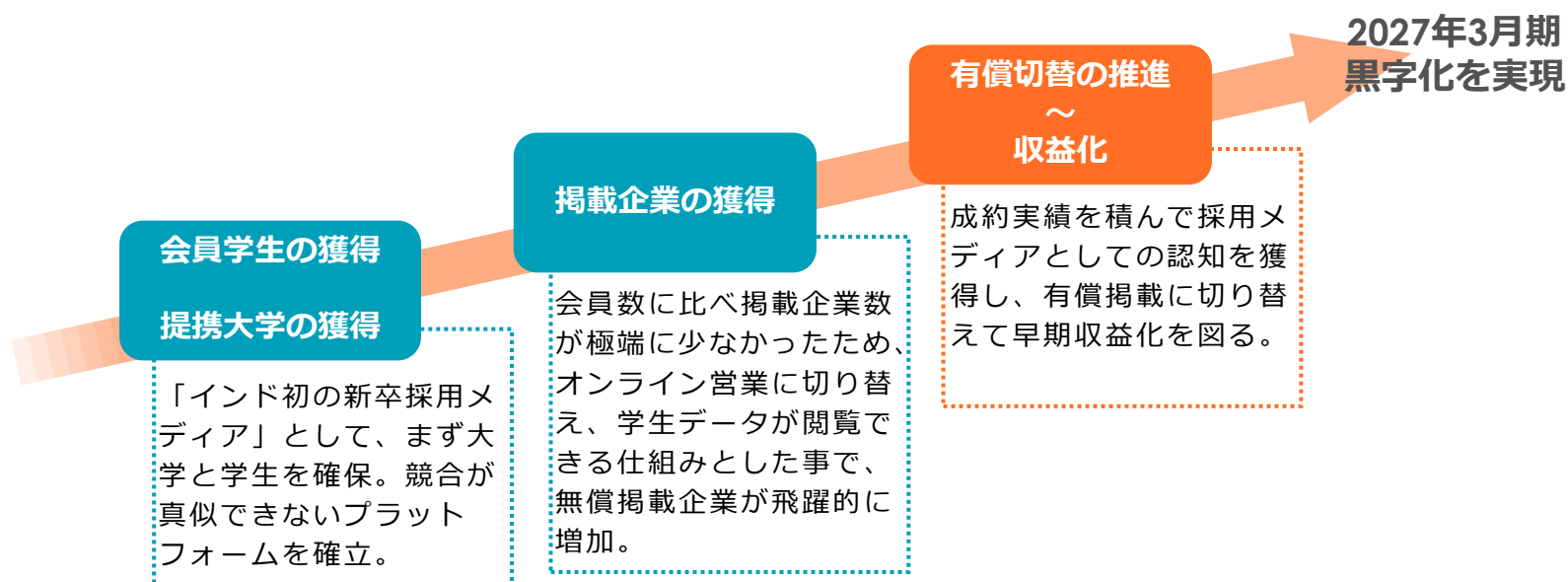
03

海外事業サービスの状況

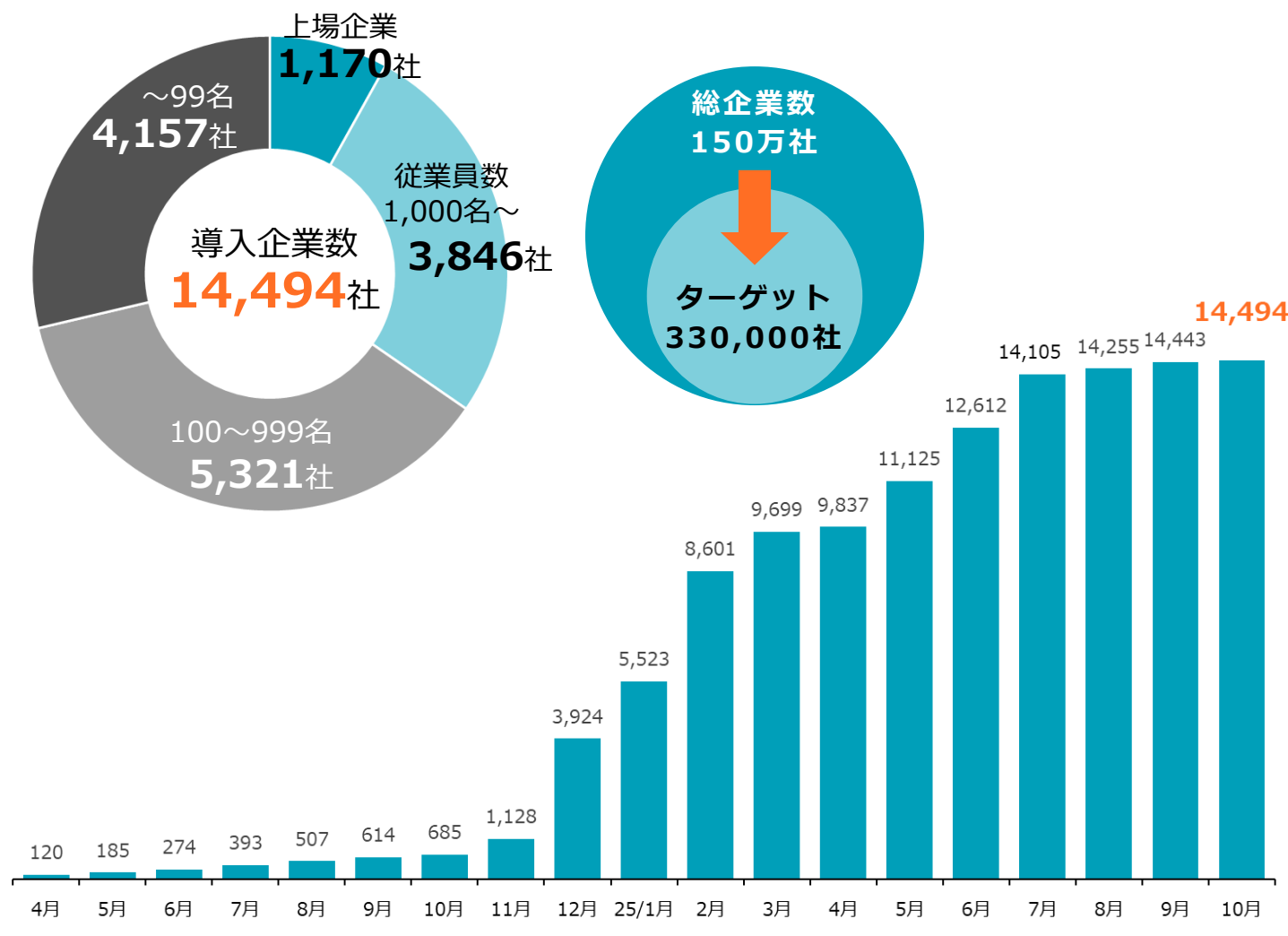
今期は利用企業／大学の有償化によって収益構造を確立し、2027年3月期の黒字化を目指す。

(単位：百万円)

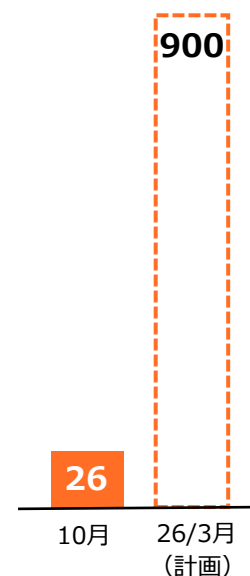
	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 業績予想	2026年3月期 第2四半期実績
売上高	0	20	310	24
営業利益	▲ 193	▲ 371	▲ 170	▲ 162



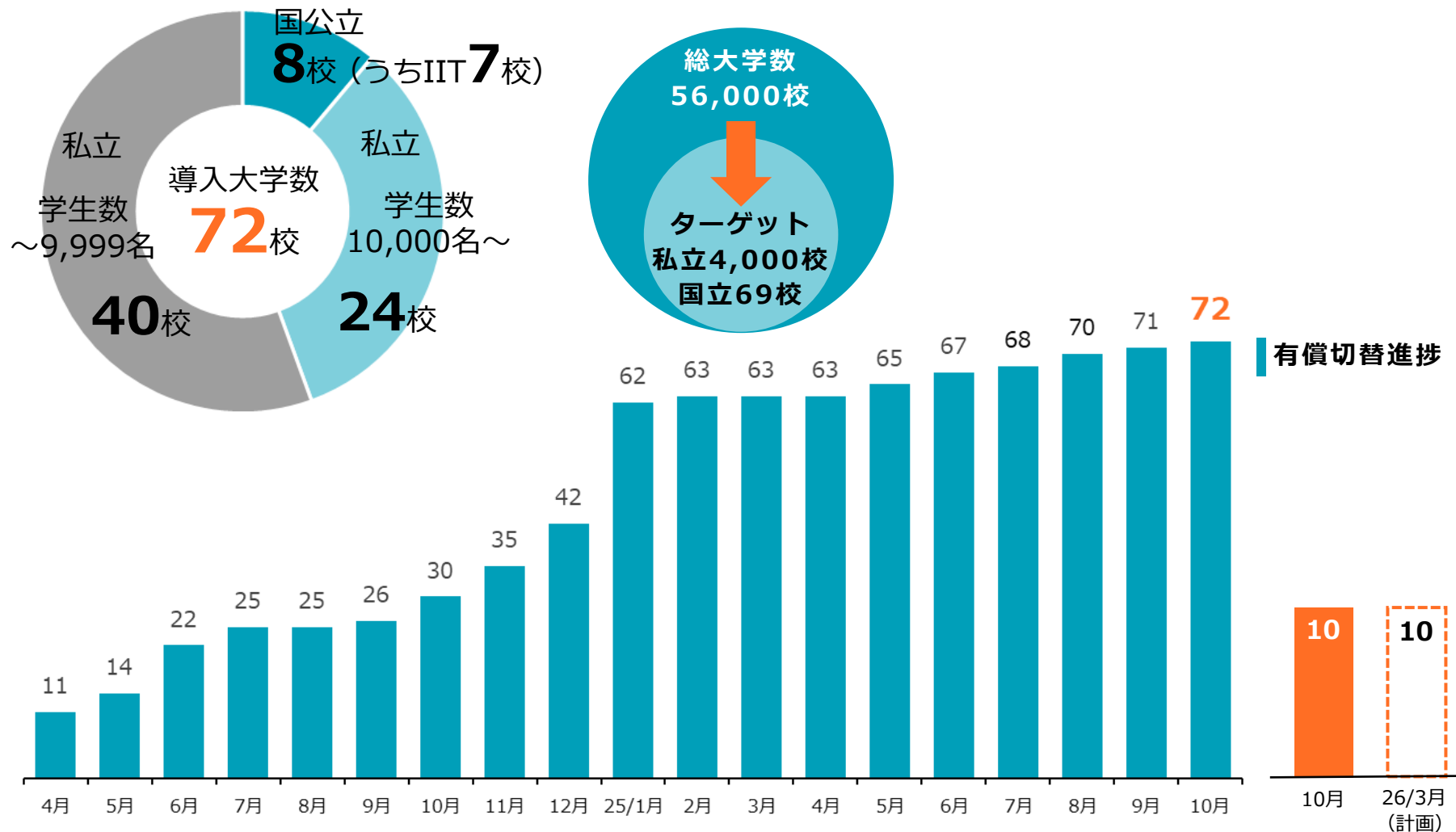
オンライン営業による無償での掲載企業獲得に戦略を変更し、14,494社が導入。
8月よりサブスクリプションサービスを開始したが、有償化切替は26社にとどまる。



有償切替進捗



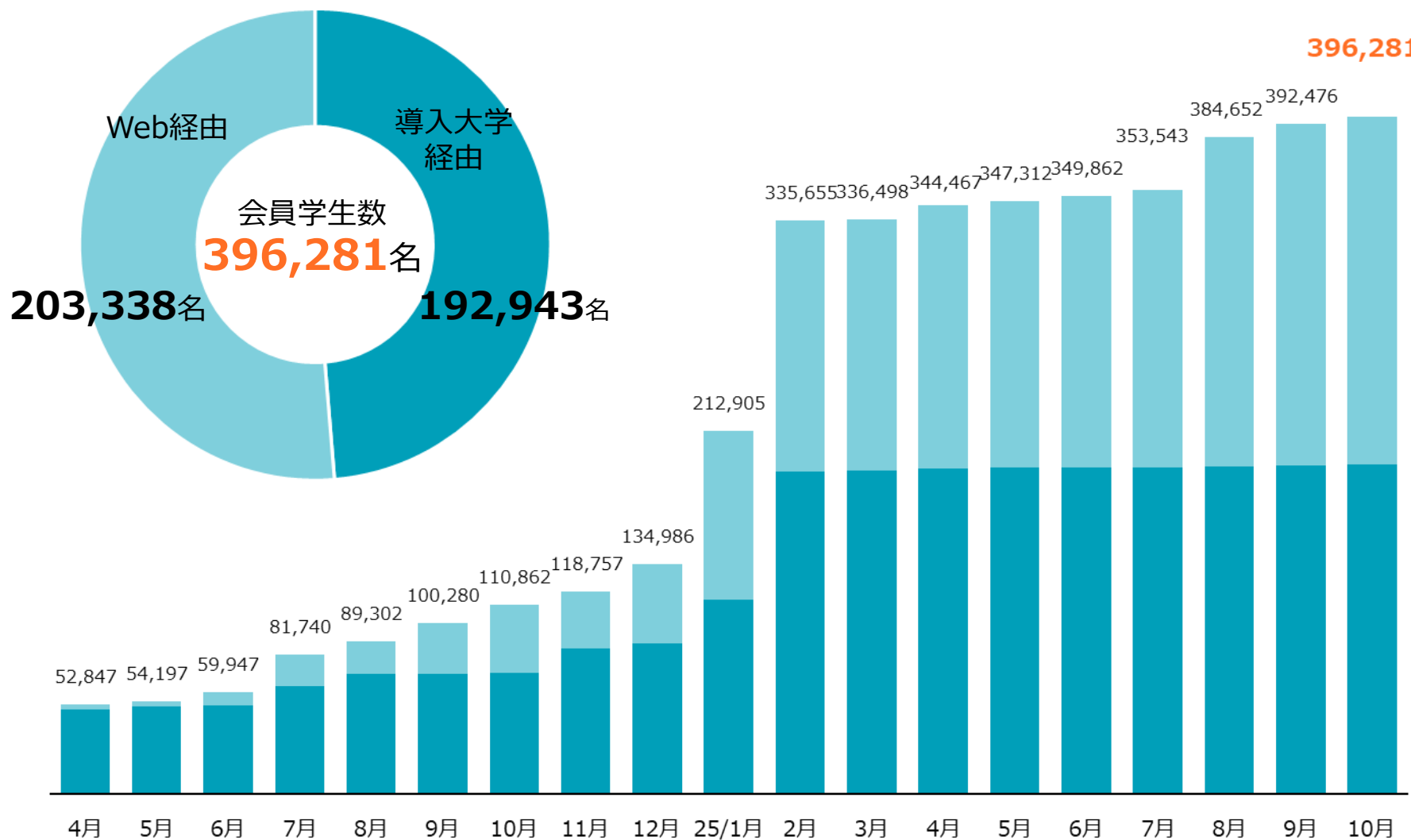
72校が導入。学生数の多い私立大学に絞って有償への切替を促進し、10校の計画を達成。



©2025 Forum Engineering Inc.



会員数は39万名を突破。



日本語を学ぶインドの理工系学生を、コグナビ新卒を介して日本の大手メーカーにエンジニアとして就職させる紹介プログラムをスタート。14社で受注獲得。

日本における新卒採用の課題

当社取引対象の大手メーカー
1,400社における採用総数

機電系学生 **4万名** / 年の
就職先 ※2



※1. 当社のターゲット企業1,400社における推計

※2. 令和5年文部科学省 学校基本調査より当社推計

※3. 令和5年文部科学省 学校基本調査より当社推計

受注状況

入社時期	業種	社数／採用人数
2025/10	医療機器、ソフト開発、SIer	3社／7名
2026/10	医療機器、電気機器、梱包機器、SIer ゴム製品、精密機器、半導体製造装置、 クラウドセキュリティサービス、 組込ソフト開発自動車部品、 インターネットメディア広告	11社／21～28名
2027/10	計測機器、 クラウドセキュリティサービス	2社／2～5名

計14社／30～40名

※2025年10月末時点。社数は重複を除いた値。



成果報酬型
150～200万円／人

日本語を学ぶ
インドの理工系学生
1万名

04

Appendix

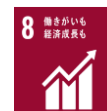
E

- ・再エネとDXを積極的に活用し、環境負荷を低減



S

- ・機械・電気系学生向け「エンジニア職セミナー」活動を継続
- ・大学でエンジニア向け企業研修、リスキリングの企画・実施
- ・スキルや学びをベースにした独自のAIマッチング技術の活用
- ・レスキューロボットコンテスト、RoboCupジャパンオープン協賛
- ・理工系大学を目指す高校生向けセミナーでの講演
- ・ノーマライゼーション事業の推進
- ・インドと日本の大学交流を支援（印日学生の短期学術交流プログラム）



G

- ・バランスの取れたガバナンス体制の維持
- ・サイバーセキュリティへの対応



SRM大学 AP校と提携し、日本の工学系の教授と学生を、当社が費用負担し、同大学へ招待する企画。滞在中はキャンパス内の宿泊施設で過ごし、授業への参加や現地企業の見学を通じて、教授や学生と交流。今期も継続して実施予定。

→ 25/3期は8大学、教授14名と学生46名が参加。26/3期も8大学が参加予定。



25/3期 参加実績

東海大学

東京理科大学

千葉工業大学

広島工業大学

崇城大学

日本大学

龍谷大学

慶應義塾大学

26/3期 参加予定

慶應義塾大学

東京理科大学

芝浦工業大学

日本大学

近畿大学

名城大学

中部大学

明治大学



SRM大学 AP校 (SRM University, Andhra Pradesh)

1985年創立。インドの私立大学の中では最大の規模（学生52,000名、教員3,200名）かつ学カレベルもトップランクに入る大学グループのひとつ。アーンドラ プラデーシュ州（AP州）をはじめ、チェンナイなどインド国内6都市に計8つのキャンパスがあり、6つの学部（工学・技術、経営、医学・健康科学、科学・人文科学、法律、農学）を有する、総合大学。日本を含む世界各国の企業との共同開発や、大学との交流プログラムなども、積極的におこなっている。



※SRM大学 AP校の最新施設

地球規模で気候変動問題が重要視される中、
当社はカーボンニュートラル達成に向けた目標を設定、
気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）に基づく情報開示を実施しました。



リスク管理

中期経営計画「cognavi Vision2026」におけるサステナビリティに対する考え方、及び取組みを全社活動目標として設定し、目標達成に向けた取組みをレビューし、社内会議体にて適宜モニタリングする運用としています。

また、サステナビリティに関するリスク・機会について、可能性と影響度の観点から、重要度の高い項目に絞り込んで取組み、自社の事業活動に大きく関連するリスク・機会については、経営会議等で確認を行い、経営戦略及びリスク管理へ反映します。

指標と目標

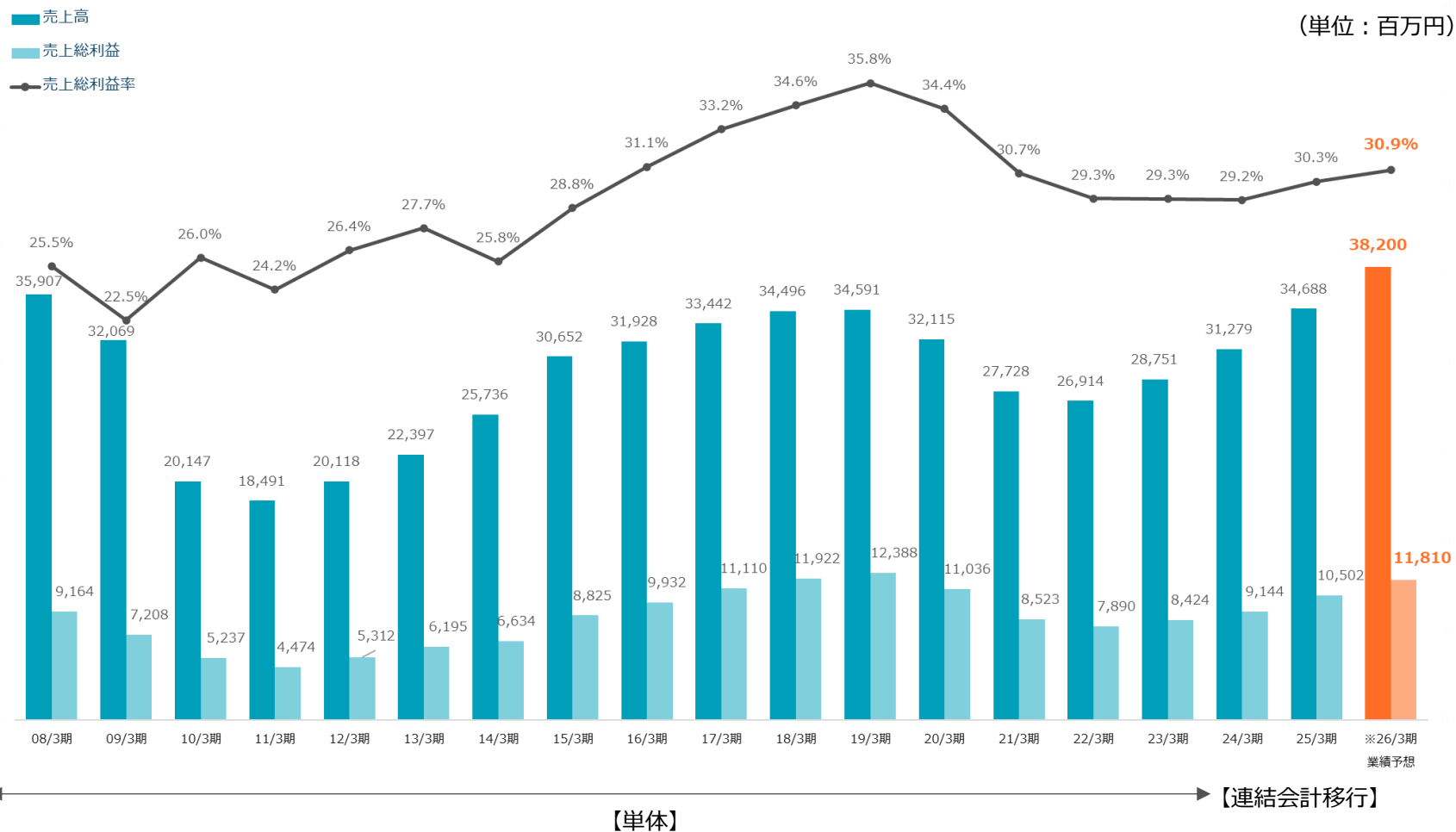
2050年のカーボンニュートラル実現を長期的な目標として設定し、2024年度にGHG排出量の算定を実施しました。引き続き、再生可能エネルギーの導入拡大・強化や事業活動からのCO2排出量の最小化に取り組んでいきます。

単位：tCO2

2023年度実績		2024年度実績	2050年目標
Scope1	91	83	カーボンニュートラル
Scope2	170	135	
計	261	218	

※上記数値は（株）フォーラムエンジニアリング単体

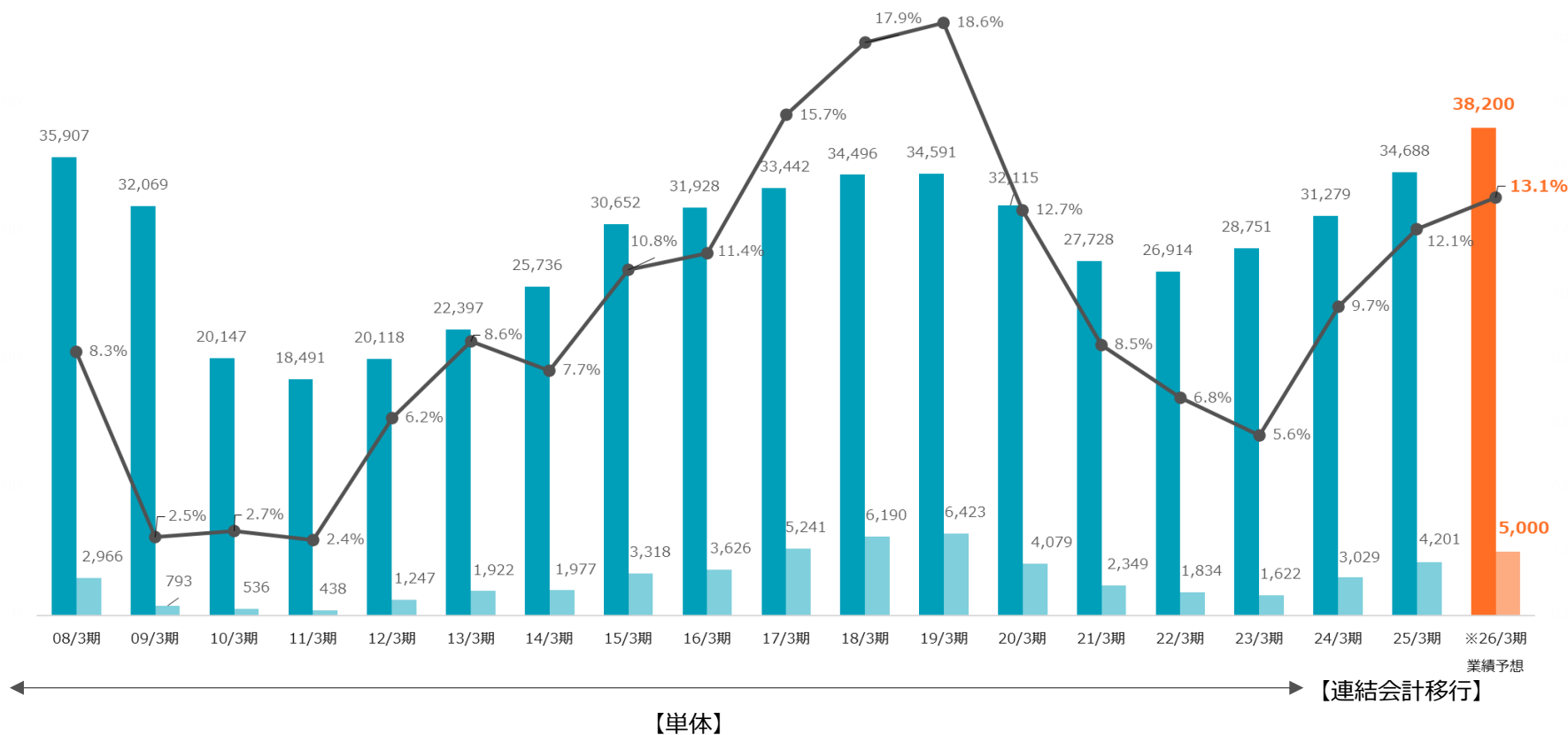
売上高、売上総利益、売上総利益率の推移



売上高、営業利益、営業利益率の推移

■ 売上高
■ 営業利益
● 営業利益率(右軸)

(単位：百万円)



2024年3月期より連結会計に移行

損益計算書 (百万円)

	実績		
	24/3期 【連結】	25/3期 【連結】	26/3期 2Q 【連結】
売上高	31,279	34,688	18,480
売上総利益	9,144	10,502	5,732
	29.2%	30.3%	31.0%
販売費及び一般管理費	6,115	6,300	3,306
	19.5%	18.2%	17.9%
営業利益	3,029	4,201	2,426
	9.7%	12.1%	13.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,039	2,884	1,663
	6.5%	8.3%	9.0%

貸借対照表 (百万円)

		24/3期 【連結】	25/3期 【連結】	26/3期 2Q 【連結】
流動 資産	現金及び預金	11,006	11,633	11,125
	流動資産合計	15,117	15,960	15,861
資産の部	有形固定資産	417	500	460
	無形固定資産	1,157	1,077	961
固定 資産	投資その他の 資産	1,225	1,239	1,229
	固定資産合計	2,800	2,818	2,652
資産合計		17,918	18,778	18,514
負債の部	流動負債合計	4,618	5,526	5,283
	固定負債合計	9	87	69
負債合計		4,628	5,614	5,352
純資産の部	株主資本合計	12,921	12,913	12,983
	純資産合計	13,289	13,164	13,161
負債純資産合計		17,918	18,778	18,514

キャッシュフロー計算書 (百万円)

	24/3期 【連結】	25/3期 【連結】	26/3期 2Q 【連結】
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,299	3,969	1,279
減価償却費	400	406	204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,078	110	△337
有形及び無形固定資産の取得による支出	△209	△284	△76
フリー・キャッシュ・フロー ¹	2,221	4,079	942
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,771	△2,970	△1,665
現金及び現金同等物の期首残高	10,434	9,904	10,990
現金及び現金同等物の期末残高	9,904	10,990	10,243

注 * 1 営業活動によるキャッシュフロー + 投資活動によるキャッシュフロー

〈KPI項目〉	24/3期					25/3期					26/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
・ 案件数（件）	2,572	3,410	2,872	2,519	11,373	2,534	2,504	2,556	2,303	9,897	2,310	2,372			
・ 中途採用数（名）	222	240	209	189	860	231	265	208	229	933	238	204			
・ 新卒採用数（名）	107	—	—	—	—	59	—	—	—	—	50	—			
・ 退職数（名）	112	165	164	167	608	130	202	162	193	687	139	239			
・ 退職率（％）	—	—	—	—	13.9	—	—	—	—	14.7	—	—			
コグナビ派遣 ・ 在籍技術者数（名）	4,190	4,284	4,336	4,340	—	4,470	4,539	4,589	4,645	—	4,722	4,724			
・ 稼働者数（名）	4,046	4,137	4,229	4,224	—	4,337	4,392	4,466	4,486	—	4,563	4,527			
・ 稼働率（％）	96.5	96.5	97.2	97.4	96.9	98.5	98.3	98.3	98.4	98.4	98.3	97.8			
・ 稼働時間（時間）	157.6	153.1	163.6	153.7	—	157.9	154.5	164.1	154.6	—	157.9	155.8			
・ 派遣単価（円）	3,872	3,879	3,886	3,931	—	4,016	4,041	4,056	4,072	—	4,202	4,218			

注 ＊ 在籍技術者数、稼働者数は、四半期末日時点の人数

＊ 稼働率は、該当四半期の3か月の月末時点における在籍技術者数の総和を分母、同時点の稼働者数の総和を分子として算出
尚25/3期より「入社後未就業のエンジニア」を除いた数値を掲載

＊ 「入社後未就業のエンジニア」とは、当社に入社後、最初の就業先企業が未定のエンジニアのことを指す

＊ 稼働時間は、該当四半期の3か月の月稼働時間の平均で計算

＊ 派遣単価は、各四半期末時点の契約単価の平均値

＊ コグナビ派遣サービスに関する各KPIについては、退職者を除く正社員の在籍技術者を対象とした集計値

〈KPI項目〉		24/3期				25/3期				26/3期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
コグナビ新卒	25卒	・ 求人掲載企業数（社） ・ 登録会員数（名） ・ 成約数（名）											
	26卒	・ 求人掲載企業数（社） ・ 登録会員数（名）											
	27卒	・ 求人掲載企業数（社） ・ 登録会員数（名）											
		—	197	326	344	365	383	383	383	—	—	—	—
		4,973	6,296	10,587	11,154	11,265	11,265	11,265	11,265	—	—	—	—
		—	—	—	18	220	287	305	307	—	—	—	—
		—	—	—	—	77	250	318	325	408	408		
		—	—	—	—	6,041	7,253	10,412	10,716	10,769	10,769		
		—	—	—	—	—	—	—	—	133	173		
		—	—	—	—	—	—	—	—	5,208	6,762		

注＊求人掲載企業数、登録会員数、成約数は全て累計数字

本資料には当社の現在の見通し、予想、目標、計画等を含む将来に関する記述が含まれています。
将来予想に関する記述には、将来に関する記述であることを示すためにすべてではありませんが、「信じる」、「予想する」、「計画する」、「戦略をもつ」、「期待する」、「予想する」、「予測する」又は「可能性がある」というような表現を、あるいは将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他「類似した表現」を用いています。

将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。
そのため、これらの将来予想に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績その他の結果は、将来予想に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。
従って、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更又は訂正する一切の義務を当社は負いません。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報及び第三者の作成に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等について、当社は独自の検証は行っておらず、何らその責任を負うことはできません。

本プレゼンテーション資料は、当社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、当社及び当社の普通株式に関する全ての情報を含むものではありません。当社の普通株式への投資判断は、当社が開示している資料をご覧ください、そこに含まれる全ての情報を検討した上で行ってください。

本資料に掲載されている情報は、日本語で作られています。英語翻訳による情報は、海外の投資家の便宜を図る目的から提供しているものです。日本語と英語での解釈に相違がある場合、日本語が優先します。



株式会社フォーラムエンジニアリング

▼お問い合わせ先

株式会社フォーラムエンジニアリング 広報・IR部

東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー15階

メール： ir@forumeng.co.jp